

テーマ

地域連携による新たな事業展開

スポーツとアート 特徴のある街づくりによる賑わい創出

横川商店街振興組合

地域NPOやアーティストと連携し施設運営、イベント事業を行い、特徴あるまちづくりと地域活動をつなげることで、街の担い手とファンの獲得に取り組んでいる。

背景と目的

当組合では、商店街利用者の減少や、経営者・地域住民の高齢化から将来の街のあり方に不安と課題を抱える中、商店街のあるべき姿を模索するため、平成25年に地域住民などを対象にニーズ調査を実施した。その結果をもとに、街ぐるみで支えている女子サッカーチーム「アンジェヴィオレ広島」の応援や、地元で活動するアーティストにアトリエの提供・活動支援等、スポーツ・アート等の当商店街を特徴づける分野を盛り上げ、街づくりに取り組むこととなった。その一環として、当組合や地元住民が中心となって横川地区の

活性化を目的に組織されたNPO法人や組合青年部や女性の会等と連携することで、地域住民や来訪客の参加を促し、街の担い手と商店街のファン獲得、幅広い世代を巻き込んだコミュニティの形成・再構築により、商店街の回遊性の向上と利用者の増加につなげ、地域や商店街の活性化と継続的発展を目指している。

事業・活動の内容

地域住民等を対象に実施したニーズ調査の結果をもとに、地域商店街活性化法に基づく活性化計画を策定。地域のシンボルである映画館「横川シネマ」をデジタル対応とし、映画館機能強化に加えて、様々なサークル活動・スポーツイベント等で利用するなど、地域住民の休暇・交流の場となっている。また、商店街ビルの一室及び空き店舗を、ギャラリーやアート教室等のレンタルスペースとして整備・活用している。更に、要望の高かったスポーツ・アート等

による、賑わい創出活動として、地域を代表するイベント「横川ふしぎ市」や横川シネマ劇場、横川商店街劇場やサンフレッチェ広島と連携した地域交流イベントなどに精力的に取り組んでいる。ギャラリーやアート教室等の施設運営は、当商店街や地元住民が組織したNPO法人が行い、地域に根差した活用を図っている。NPO法人は、商店街、アーティスト及び他の地域団体と間断なく連携・協議し、商店街活動のみならず、相互の活動を協力・補完しており、今日では、商店街及び地域において重要な役割を担う組織となっている。

活動の成果

本事業に対するマスコミ等の報道で、スポーツ・アートの街としての知名度が一層増していることから、商店街への店舗立地及びアーティストの創作活動・発表の場として活用する機運が高まっており、商店街の新たな魅力化・個性化に貢献している。

また、本事業で整備した各施設の利用・運営を通じて、地域団体等との交流も一層密接になっており、地域住民、来街者等の交流・生涯学習の場として幅広く利用されている。



▲女子サッカーチーム「アンジェヴィオレ広島」交流イベント

当組合の活動により、組合員の商店街事業に対する自信が深められるとともに組合員相互の結束力の強化に結びついており、こうした体制の下で商店街の活性化及び街づくり活動が一層推進されるものと見込まれる。

横川商店街振興組合

住所：〒733-0011
 広島県広島市西区横川町
 3-1-18
 設立：昭和39年12月
 出資金：20,400千円
 電話：082-232-2434
 URL：http://e-yokogawa.net/
 業種：小売業、サービス業
 及び飲食
 組合員：68人
 組合専従者：2人